

雨音をききながら、「絵本」の世界へ



「へそとりごろべえ」
赤羽 末吉／詩・画



「にじいろでんしゃはっしやしまーす!」
間瀬 なおかた／作・絵



「あめがふるふる」
田島 征三／作

かみなりのへそとりごろべえは、おへそが大好き。家の宝のへそとりきをもって、おへそをとりでかけます。はじめに、ためきどんのところへ行き、丸いおなかにあるおへそを、へそとりきで…。

赤羽末吉さんは、1910年、東京都生まれ。絵本作家。「スーホの白い馬」でサンケイ児童出版文化賞などを受賞。創作活動の業績に対して国際アンデルセン賞絵画賞を受賞。1990年、死去。

雨の日、お部屋で退屈していた子どもたちのところに、にじいろ電車がやってきた。みんなを乗せると、いろんな場所へと旅をして…。穴のあいたトンネルが想像力を刺激する、乗り物しかけ絵本。

間瀬なおかたさんは、愛知県生まれ。作品に「でんしゃでいこうでんしゃでかえろう」「バスでおでかけ」「のねずみくんのすてきなマフラー」など。

雨の日のおるすばん、ネノくんときつちゃんの兄妹が窓の外をながめていると、意外なものばかりが現れて…。自然と対話し創作を続ける著者が、雨の日の楽しさを描ききった笑顔いっぱい絵本。

田島征三さんは1940年大阪府生まれ。「ちからたろう」でブラティスラヴァ世界絵本原画展金のりんご賞、「ふきまんぶく」で講談社出版文化賞絵本賞、「とべバツタ」で絵本にっぽん賞など受賞。

6月の催しもの

と き	催しもの
毎週月曜日	あかちゃん絵本 よみきかせ会
7・14・21日(木)	午前11時～午後0時30分 あかちゃんクラブ ラッコルーム
2・16・23日(土)	午前11時～ 「おはなし」と 「あそび」の広場
3日(日)	午前11時～午後2時～ 子どもビデオ劇場
9日(土)	午後2時～ 夏のおはなし会
17日(日)	午前11時～午後3時～ 「父の日」のカバン型 ファイルケースづくり
23日(土)	午後3時～ 世界のお話ひろば～中国～
24日(日)	午前11時～午後3時～ 子ども工作教室 「七夕かざり」

◆展示会「本とポスターでみる『鹿児島の魅力』」6/2(土)～6/17(日)
●蔵書と図書館システムの点検による休館
休館期間：6月26日(火)から7月5日(木)まで
※上記の休館に伴い、6月13日(水)から25日(月)までの間、資料の貸出期間を4週間とします。

その他の本

- ◆「てるてるぼうずとふりふりぼうず」
せな けいこ／作・絵
- ◆「まほうのかさ」
小沢 正／文
はた こうしろう／絵
- ◆「おじさんとカエルくん」
リンダ・アシュマン／文
クリスチャン・ロビンソン／絵
なかがわ ちひろ／訳
- ◆「かえるびよん」
ささめや ゆき／作
- ◆「雨、あめ」
ピーター・スピーアー／作
- ◆「おじさんのかさ」
佐野 洋子／作・絵
- ◆「かえるのピクルス 虹をわたる」(おとな向け絵本)
平岡 淳子／文
吉井 みい／絵

俳句

「蓴菜(じゅんさい)」

ふそう俳句会

背を丸め蓴菜を採る老いの仲
梅雨晴や白と紫香を競ひ
走りきて吾と遊ぶや羽抜鳥

中野 政信
永井 年國
吉野 童子

川柳

扶桑川柳クラブ

良かったよたった一言くれた人
飼主に似てきた犬の面構え
にらめっこ画面のレシピ走り書き

浅井 洋子
前本たかし
玉田 博子

短歌

「緑茶」

ふそう短歌会

若きらを鍛うさまとも匠らの
手採みに仕込む緑茶のうまみ
桜咲く犬山城を眺めつつ
夫と歩めり朝の遊歩道
刻惜しみ梅雨の晴れ間の颯ごっこ
抜きゆく我と伸びやまぬ草

中山 哲也
桜井 五月
鈴木 淑子

詩吟

「礮中の作」

岑参

馬を走らせて西来天に到らんと欲す
家を辞してより月の両回円かなるを見る
今夜は知らず何れの処にか宿せん
平沙万里人煙絶ゆ

「意」馬を走らせて西へ西へと進むが、行けども行けども果てしなく天に上るようである。家を出てから、もう二度も満月を迎えた。さて今夜はどこに宿をとつたらよいか、何のあてもない。見渡すかぎり広くひろがった一面の砂漠は遠くまで続いて全く人家の一すじの煙も見当らない。

正風流二代目家元 山内 正風